

令和6年度 学校評価 丹波市立黒井小学校 パワーアッププラン

1 目標・方針

<p>中期的な学校運営の 目標・方針</p>	<p>「主体的に学び、地域に誇りを持つ、心豊かな子の育成」 主体的に人生を切り拓いていくための「学力」を育成するとともに、地域・家庭と協働して、自分たちの地域を愛する 心豊かな子どもたちを育成する。 [主体的に学ぶこと] 課題を見つけ学び続ける（自立した学習者） [地域に誇りを持つこと] 人とつながり地域を学ぶ（地域とともにある学校） [心豊かな心を持つこと] 自他の命や人権を大切にする（人権意識の醸成）</p>
<p>本年度の重点目標</p>	<p>① 児童理解の促進…不登校や不登校傾向、いじめ、問題行動等の防止に向けた職員間での情報共有の充実と早期発見、早期対応。 ② 地域・家庭との協働…学校運営協議会を軸に地域の教育資源の活用をすすめることや学習課題等を家庭と共有することで学力の向上を図る。 ③ 学力の向上…「主体的・対話的・深い学び」のための授業改善と学習の個別最適化にむけた学習課題等における家庭学習との接続を大切にする。 ④ 体力の向上と安全…防災・安全教育の充実により、安全で安心できる学習環境づくりに努める。運動能力調査の結果を活用し能力の向上を図る。</p>

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育資源の活用(たんばふるさと学) ・学校運営協議会の推進 ・学校情報の発信 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を推進し、学校・地域・家庭の「子どもたちの学びの充実」にむけた協働活動を充実させる。 ・地域の持つ教育資源（人・物・組織等）を学校支援コーディネータとの協働により児童の学習に活用する。 ・さくらメールやホームページ等を活用し、学校だより「絆」や学年通信等を発信する。 ・学力学習状況調査の結果や各種調査結果、保護者アンケートの結果、学校評価の結果を公表し、教育活動の充実改善につなげる。
教育課程	学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」を軸とした授業改善 ・個別最適な学びにむけた支援の充実 ・ICT環境を活用した学習時間の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「わくわく もっとやってみよう ～黒井の地域と繋がろう～」を研究テーマに、総合的な学習の時間を中心に、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。 ・個別の学習課題を明確化し、個別の課題を家庭学習や朝のスキルタイムに取り組むことで課題解消を目指す。 ・学習の結果のみでなく学習課題の解決に向けた取組経過を認めることで自己肯定感を育み、学び続ける意欲を育てる。 ・一人一台のタブレットPC等を活用し、自ら課題を持ち、調べて、まとめて発信する、「情報活用能力」を育成する。
課題教育	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づく支援の充実 ・児童・保護者への啓発活動の実施 ・関係機関等と連携した支援体制の充実 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域、在籍児童に対して、本校の取組む特別支援教育について、機会を捉え、繰り返し啓発を行う。 ・特別な支援が必要な児童、一人ひとりの実態を把握し、共通理解し、職員全体での支援体制のあり方や対象児童の変容を共有し個に応じた支援を充実させる。 ・認定こども園かすが花の子園等の就学前の教育・保育機関と連携し、就学前からの相談・支援体制の充実を図る。 ・基礎的環境整備と合理的配慮に基づく支援及び指導を重ね、学校と保護者、関係機関等で情報を共有し教育活動の充実を図る。

3 学校関係者評価

(1) 開かれた 学校づくりについて

- ・黒井小校区は、学習資源や歴史・文化資源、自治協組織や生活環境など、学校運営や地域事業の運営に必要なパーツに大変恵まれている。
- ・たくさんの方々が黒井小学校の子ども達に関わってくださっていることや協働の取組などを保護者向けに発信して行く必要がある。
- ・地域の方に「学校運営協議会って？」と質問されることがあり、少しずつ地域や保護者に認識されつつあると思う。
- ・学校ボランティアの登録者を増やしていきたい。
- ・地区別懇談会を上手く活用し、SNSの利用方法や日頃、家庭で気を付けてほしいことなどをもっと発信していったらどうか。
- ・学校の情報が、各地域の自治会長までタイムリーに届くとうれしい。
- ・登下校時、保護者を含む地域住民が積極的に児童に付き添っていて、見守り体制が整っている。

(2) 学習指導の充実について

- ・授業の中でも友達と相談したり、自分の意見を述べたりする活動を通して、他者を認めることや自己肯定感を高める授業づくりをされているなど感じた。
- ・黒井城まつりをはじめとして、地域の持つ教育資源を活用し、子ども達が主体的に学ぶ場を上手く設定されていると感じた。今後、地域の方々と協議し、より多くの子ども達と保護者が参加できる場になればいいと思う。
- ・ICTの活用等により、引き続き、わかりやすい・やってみたい・考えることが楽しいと感じる授業を展開してほしい。

(3) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実について

- ・社会背景も含めた児童理解と情報共有、一人一人に応じた一貫した関わりを継続してほしい。

4 次年度の改善の方向性

本年度、「自分に自信をもち、地域に誇りをもつ心豊かな子の育成」を学校教育目標に、「自信をもつ・自ら学ぶ子」「課題を見つけ学び続ける子」「地域に誇りを持つ子」を目ざし、黒井小学校運営協議会とも連携し、取組を進めてきた。

次年度も、黒井地域の強みである、「豊かな地域教育資源の活用（たんばふるさと学）」や「園小連携の充実」、「アフターコロナ下における地域や保護者との連携」等を活かし、今年度の学校評価の結果や教育反省を踏まえ、学校運営協議会と協働しながら家庭・学校・地域が一体となり、「自分に自信をもち、地域に誇りをもつ心豊かな子の育成」を目ざしていきたい。

令和7年3月24日

学校名 丹波市立黒井小学校

校長名 長井 博史